

議事録

1 自己紹介・学校運営協議会委員の任命

校長、学校運営協議会委員、学校教職員が自己紹介を行い、それぞれの仕事に関することや得意分野等について紹介しました。その後、委員5人の任命を行った。

2 令和7年度学校経営計画の説明

学校教育目標「良さが輝き 未来をひらく」と校訓「地域に学び 地域に生きる人」の提示後、目標具現化の柱に沿って説明をしました。安心・安全、専門性、連携、チーム学校の4つの視点ごとに、今年度の重点目標を挙げました。

3 伊豆松崎分校の課題

～伊豆松崎分校の強みと課題～

最初に、伊豆松崎分校の強みと課題について説明をしました。

<強み>

- ・ 地域に根差した教育活動
- ・ 松崎町という自然豊かな環境
- ・ 地域の方々との交流
- ・ 松崎高等学校との併設による共生・共育の推進

<課題>

- ・ 小規模校ならではの課題（生徒数の減少）
- ・ 実習先や就労先の確保

これらの強みと課題を受けて、以下のようなご意見をいただきました。

～企業との連携強化と作業学習のあり方～

企業との連携については、就労体験の機会を増やすだけでなく、企業側が学校を訪問し、生徒たちの学びや成長を直接見てもらう機会を設けたらどうかと提案がありました。これにより、企業側が生徒たちの可能性を理解し、より具体的な就労支援につながるのではないかと、御助言をいただきました。

また、作業学習のあり方についても活発な議論が交わされました。単に製品を作るだけでなく、地域と連携して実践的な作業に取り組むこと、生徒たちの個性や興味を尊重した多様な学習機会を提供することの重要性がありました。例えば、地域の産業である林業や柑橘農業、あるいは観光業などと連携し、季節に応じた体験学習を行うことで、生徒たちの学びをより深めることができる可能性があるのではないかと、前向きな意見交換ができました。

第1回学校運営協議会

＜ディスカッション＞ 本校の課題について

「伊豆松崎分校が地域で活躍するために」

・松崎進路ガイダンス 介護、銀行など地元企業
（分校生徒も参加してみたい）

・8月模範面接会（松崎対象）
模範を通じてお話し会も考える会

・御前崎 ← 企業の人事の方へ学校での生徒の紹介（作業数）
分校 見てもらう、直接つはかる
生徒が地元で活躍できる場の開拓

・松崎町とのつばき... 現在工地域作業

・高校の西豆学... 企業が参加しているのど
分校も一緒にやらせたい

（注）
・企業の人不足
・若者の離職
・できること模索
・地元経営者の方へつはかるチャンス!!

作業学習... 大勢の陶芸がものをつくる学習から

・地域に出て活躍する方向へシフト

・福祉
・施設の経営者、ほかく場も提供している
（同じように作業、製品も確保して...）

・仕事だけでなく、自立
・自分で楽しみを見つける

・通学に時間がかかるのも
社会に出れば日常

・地域だからできること、もの、人
季節労働、地域の人々が生徒を大切にしてくれる
米、かんきつ、林業
のり、お漬物、炭火
ジビエ、協力隊の方

蔵りさん... 協力してくれと言ってくれている

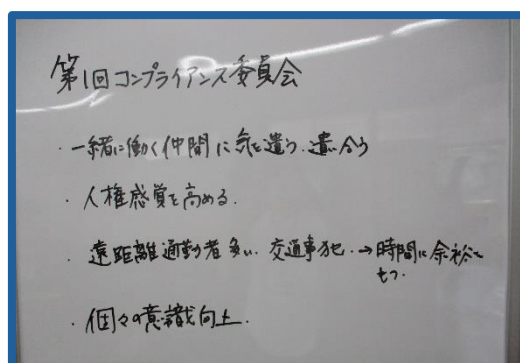
西豆学... 三余丸高 林業では...!!
校外学習 武彦先生 かんきつ

～地域への発信と学校の活性化～

学校の活性化のためには、地域への積極的な情報発信が不可欠だという意見が挙がりました。学校のホームページや広報誌だけでなく、地域のイベントへの参加、SNSの活用など、様々な媒体を通じて学校の魅力や生徒たちの活躍を発信していくことで、地域住民の学校への理解と関心を深めることができると助言をいただきました。また、地域の皆さんが気軽に学校を訪れることができるような機会を設けることも、学校を地域に開かれた存在にする上で重要であると確認できました。

4 コンプライアンス委員会

令和7年度不祥事根絶取組計画の説明後、各職場での取り組み例を伺いました。伊豆松崎分校の教職員の多くが車で通勤していることを考えると、交通事故防止に向けた意識づけは非常に重要です。個人の取り組みとしては、交通安全に気をつけるのはもちろんのこと、時間に余裕をもつことが大切だと話題に挙がりました。個人の注意喚起だけでなく、地域全体で交通安全意識を高めるための啓発活動も効果的かもしれないという意見もありました。



5 まとめ

伊豆松崎分校は、地域の温かい支援を受けながら、生徒一人ひとりの可能性を最大限に引き出すための教育に取り組んでいることが共有できました。今後も地域との連携を深め、様々な課題を乗り越えながら、生徒たちが地域で輝き、未来をひらいていけるよう、学校運営協議会の皆様と力を合わせて進んでいきたいと思います。